

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年5月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年5月1日～5月31日）

○調査期間：令和6年5月31日～令和6年6月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象の
Web景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業20企業、製造業20企業、卸売業15企業、小売業25企業
飲食業16企業、サービス業38企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計134企業>

○調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅が拡大した

1. 業況判断

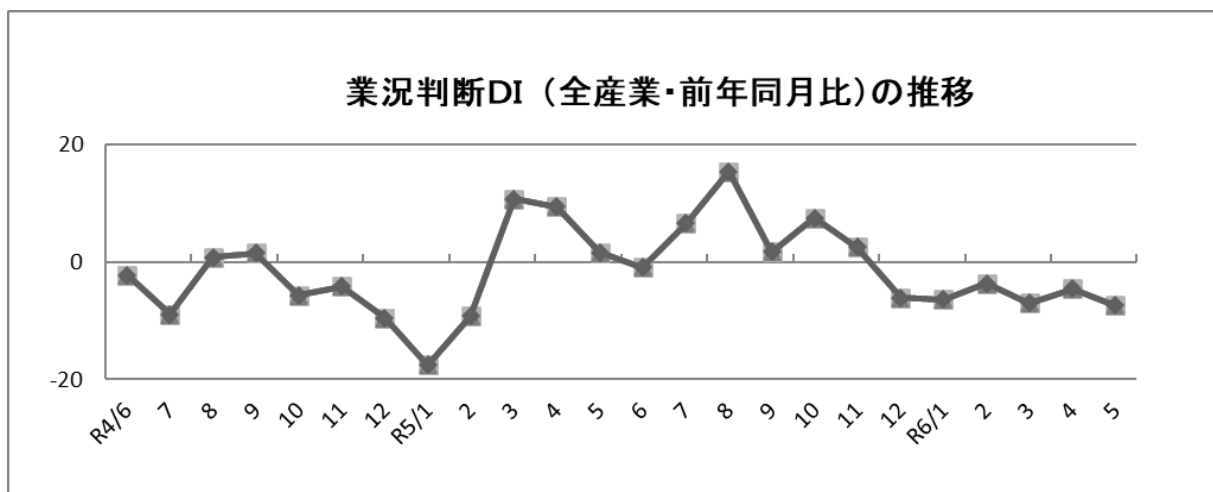
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲4.5)より2.9ポイント下降し、▲7.4となった。業種別では、飲食業はプラス幅が縮小し、サービス業はプラスから0になった。小売業は0からマイナスになり、製造業・卸売業・建設業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲12.6)より3.0ポイント下降し、▲15.6になった。業種別では、小売業が0からマイナスになり、卸売業・建設業・サービス業はマイナス幅が縮小した。製造業・飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	18.7 (18.0)	55.2 (59.5)	26.1 (22.5)	▲7.4 (▲4.5)	17.2 (14.4)	50.0 (58.6)	32.8 (27.0)	▲15.6 (▲12.6)
建設業	5.0 (5.3)	70.0 (68.4)	25.0 (26.3)	▲20.0 (▲21.0)	5.0 (5.3)	70.0 (63.1)	25.0 (31.6)	▲20.0 (▲26.3)
製造業	15.0 (11.8)	65.0 (58.8)	20.0 (29.4)	▲5.0 (▲17.6)	20.0 (17.6)	50.0 (58.9)	30.0 (23.5)	▲10.0 (▲5.9)
卸売業	20.0 (7.7)	46.7 (61.5)	33.3 (30.8)	▲13.3 (▲23.1)	20.0 (7.7)	33.3 (46.1)	46.7 (46.2)	▲26.7 (▲38.5)
小売業	16.0 (20.0)	52.0 (60.0)	32.0 (20.0)	▲16.0 (0.0)	16.0 (20.0)	44.0 (60.0)	40.0 (20.0)	▲24.0 (0.0)
飲食業	31.3 (30.8)	43.7 (46.1)	25.0 (23.1)	6.3 (7.7)	18.8 (23.1)	43.7 (46.1)	37.5 (30.8)	▲18.7 (▲7.7)
サービス業	23.7 (26.5)	52.6 (58.8)	23.7 (14.7)	0.0 (11.8)	21.1 (14.7)	52.6 (64.7)	26.3 (20.6)	▲5.2 (▲5.9)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



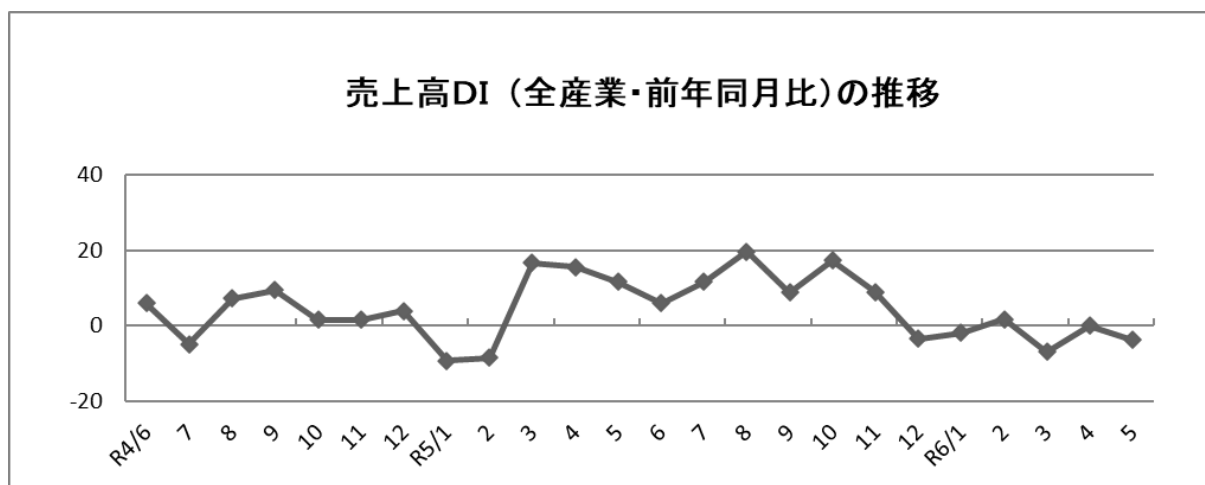
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(0.0)より3.7ポイント下降して、▲3.7となった。

業種別に見ると、サービス業はプラス幅が縮小し、小売業はプラスからマイナスに転じた。飲食業は横ばいで、製造業はマイナスからプラスへ転じた。卸売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8	17.3	9.0	▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9	0.0	▲3.7
建設業	▲31.5	0.0	▲23.5	▲27.7	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3	▲11.7	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲25.0
製造業	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲23.5	11.8	6.2	▲31.5	▲5.9	5.0
卸売業	0.0	12.5	8.3	9.1	▲8.3	▲9.1	0.0	21.5	▲15.4	0.0	▲7.7	▲15.4	▲6.7
小売業	30.4	▲4.5	8.3	40.0	▲15.0	14.3	▲16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲16.0
飲食業	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲33.3	0.0	0.0
サービス業	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲12.1	▲3.1	3.0	9.4	17.7	10.5



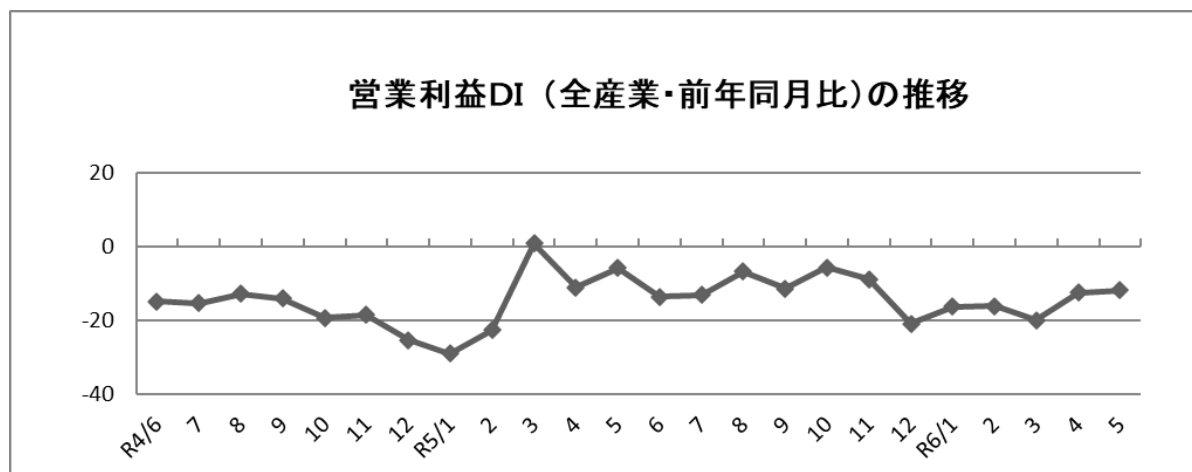
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲12.6)より0.7ポイント上昇して、▲11.9となった。

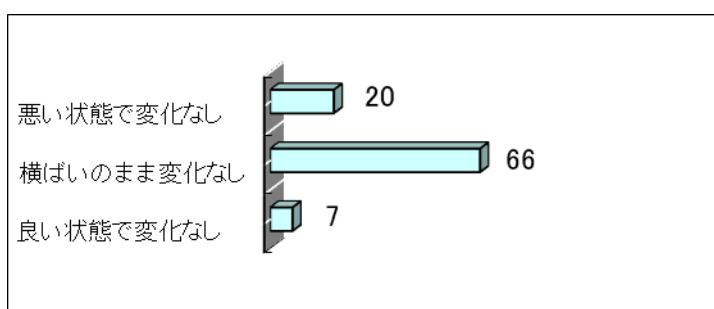
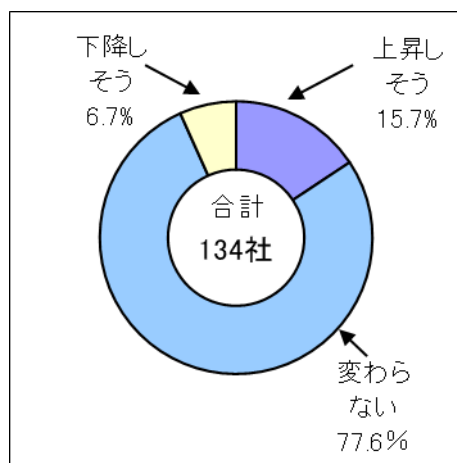
小売業はプラスからマイナスに転じ、サービス業はマイナスからプラスに転じた。卸売業・製造業はマイナスから0になり、建設業・飲食業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲5.9	▲13.6	▲13.2	▲6.8	▲11.4	▲5.8	▲8.9	▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0	▲12.6	▲11.9
建設業	▲36.8	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8	▲23.5	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲30.0
製造業	▲16.7	▲15.8	▲26.3	▲33.4	▲13.3	▲27.7	▲29.5	▲35.3	▲5.9	▲25.0	▲57.9	▲35.3	0.0
卸売業	▲40.0	0.0	0.0	▲18.2	▲16.7	▲27.2	▲25.0	▲7.1	▲23.1	▲23.1	▲7.7	▲7.7	0.0
小売業	26.1	▲18.2	▲12.5	5.0	▲30.0	▲14.3	▲22.2	▲15.8	▲22.2	▲18.2	▲19.0	6.7	▲24.0
飲食業	0.0	▲16.6	▲7.7	28.6	0.0	14.3	▲10.0	▲53.8	▲15.4	▲16.7	▲41.6	▲15.4	▲37.5
サービス業	2.7	▲8.1	▲5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲12.1	▲12.5	▲9.1	6.3	▲5.9	5.3



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

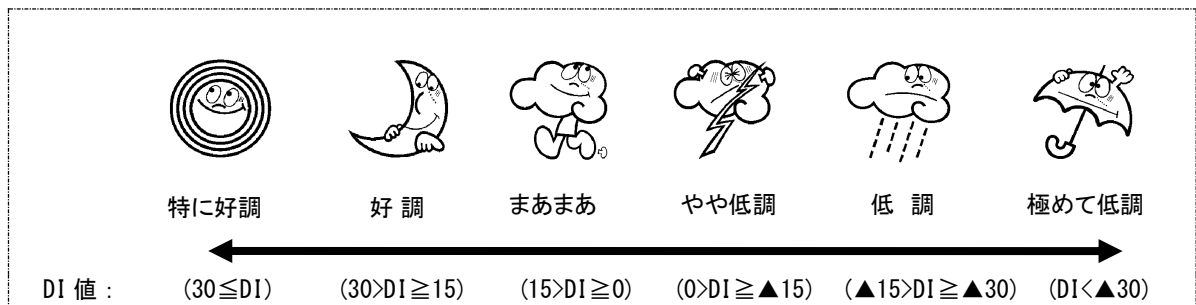


○令和6年6月～8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ5.8ポイント増え15.7%、「下降しそう」が0.4ポイント増え6.7%となった。業種別の見通しDIは建設業(15.0)、製造業(0.0)、卸売業(0.0)、小売業(0.0)、飲食業(25.0)、サービス業(13.2)であった。

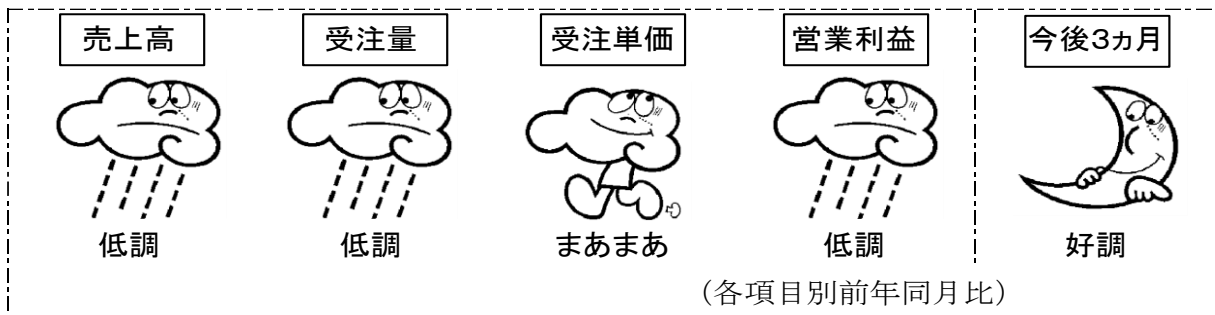
- ➡「上昇しそう」では「公共工事の発注が見込めるため」「いままでが悪かったので改善の希望も込めて」「受注済み工事が本格的に始動するため」「新年度工事が発注されるため」「(建設業)「受注量が増加しているため」「新規アイテムの受注及び通常の受注が増えてきたため」「(製造業)「観光需要に期待しているため」「今までより高い価格帯の商品の品ぞろえも始めるため」「(卸売業)「夏休みに入れば観光や帰省等で人の動きに期待が持てるため」「新商品の売れ行きが良いため」「通販顧客へ謝恩販売の案内DMを送るため」「(小売業)「観光客増加のため」「地元客も観光客も利用が増えているため」「夏に向けて暑気払い等の需要が増えるため」「インバウンドも増え観光客が大勢来ているように感じるため」「(飲食業)「観光シーズン到来のため」「インバウンドの入込増加のため」「金属加工製造業を中心に受注が増加し景気押し上げへ繋がるため」「取引先が増えたため」「ここ数ヶ月問い合わせが増加しているため」「(サービス業)といった声が寄せられた。
- ➡「下降しそう」では「夏期は閑散期のため」「大きな注文があったが今後も続くかわからないため」「(製造業)「猛暑が予想されるため」「(卸売業)「夏は暑く毎年業況が下がるため」「車輦代の値上等により販売しにくい」「資金繰りに苦労しており、仕入に影響が出ているため」「(小売業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<D | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 25.0
受注量	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 21.1	▲ 30.0
受注単価	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0
営業利益	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 30.0
見通し	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1	0.0	15.0

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

- ・色々な場面で人手不足が顕著になってきていると感じた。
- ・長野県内地域に限定すると建築物件数の絶対量が少ない。反面、1都3県の首都圏については相変わらず物量が多く地方との格差が益々広がっている。

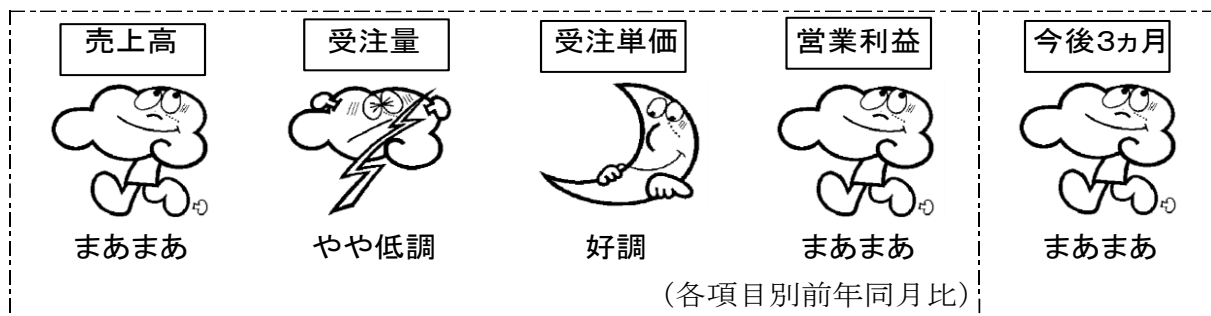
土木工事

- ・新年度4月、5月の公共工事の発注量がかかなり低調である。
- ・かつて1ドル80円の時代に、安い労働力を求めて海外に行ってしまった工場が戻ってきて、景気回復に繋がることを期待している。

電気工事

- ・銅の値上がりにより電線類の高騰が続くのか、一時的なのか皆目わからない状態が不安要素である。

2. 製造業



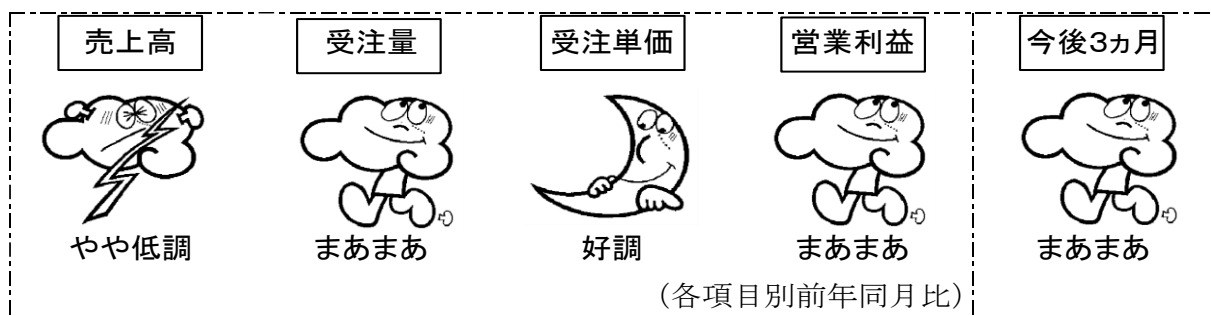
【項目別DIの推移】

	R6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2	▲ 31.5	▲ 5.9	5.0
受注量	5.6	5.3	▲ 5.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 5.0
受注単価	16.6	21.0	26.3	16.7	▲ 6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲ 10.5	11.7	15.0
営業利益	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0	▲ 57.9	▲ 35.3	0.0
見通し	5.5	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6	0.0	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|---|---|
| <p>小型情報機器組立</p> <p>金属塗装</p> <p>印刷紙器</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・物価高と人件費の見直して大変である。 ・前年比では良かったが、前年が悪過ぎたため、受注、売上ともあまり良くない。中国の低迷が影響しているのだろうか。 ・お土産関係は動きが鈍かったように感じる。 |
|---|---|

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	0.0	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 6.7
販売客数	▲ 10.0	12.5	▲ 8.4	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	6.6
販売客単価	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	0.0	0.0	20.0
営業利益	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0
見通し	▲ 10.0	0.0	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7	15.4	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|---------------|---|
| <p>青果卸小売業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全てが値上げされ購買意欲が低下している。これからの時期は自家栽培の野菜が増える。 |
|---------------|---|

自転車	・価格転嫁をして賃上げし、物価高に対応というが、価格転嫁しようにも市場価格があっておらず、値上げを躊躇している。インターネットなど消費者は価格に敏感になっている。
土産品	・ゴールデンウィーク以降販売が低調である。インバウンドの方は多いと思うが売上に繋がっていない。昨年より厳しい。
金属製品	・若干動き出した感じは見える状況になってきており、物件の引き合いも出てきたが、本格稼働は未だ不透明な部分もある。
製菓材料卸売 板硝子、アルミサッシ、エクステリア	・製菓関連における土産品の動きがどうなのだろうか。 ・今春の賃上げについて他社の状況を調査してほしい。 ・企業向け助成金があると良い。

4. 小売業



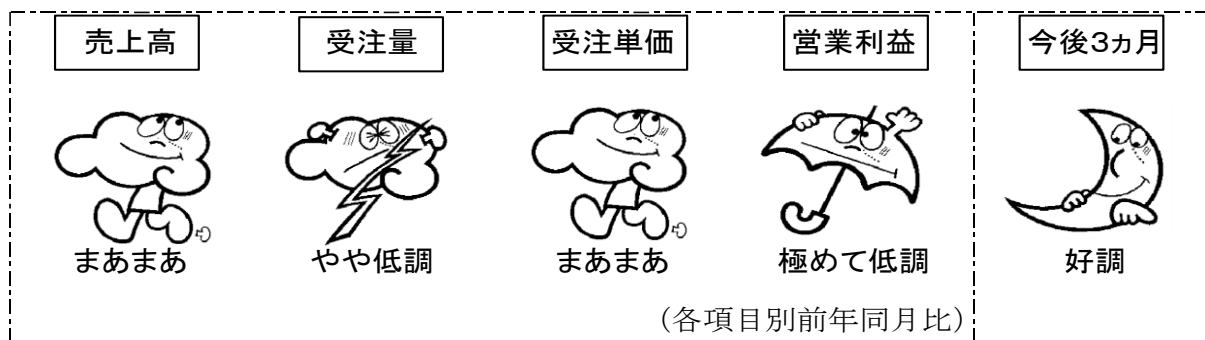
【項目別DIの推移】

	R6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲ 16.0
販売客数	17.4	▲ 9.1	4.1	20.0	▲ 20.0	9.6	▲ 5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲ 16.0
販売客単価	26.1	9.1	25.0	15.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1	20.0	▲ 12.0
営業利益	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7	▲ 24.0
見通し	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

洋菓子店	・松本でのインバウンドが知りたい。洋菓子業界は暑い時期は売上がダウンする。
印章	・大型連休のみならず、修学旅行やバスツアーが戻ってきているため平日の人通りも増えている。連休中の松本城はチケット購入までの待ち時間が1時間ほどかかっていた。電子チケット、博物館とのセット券、入場時間指定券等を検討してほしい。
印章・刃物研ぎ	・海外からの観光客が目に見えて減ってきた。修学旅行の生徒が増えてきたが売上には繋がらない。
生鮮食品	・松本城から大名町通りを観光客がぞろぞろと歩いているが、その後どこへ行くのだろうか。
花・植木	・例年閑散期のため。
酒	・2つの大型商業施設の撤退、りそな銀行が移転発表をした。
パン	・年金や金利がどうなっていくのか、それによって商売の計画も変わっていくと思う。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0
販売客数	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0	0.0	▲ 6.2
販売客単価	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3
営業利益	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4	▲ 37.5
見通し	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・今年の夏は観測史上1位の暑さになる可能性がある中での電気代負担の増加、食品や包装資材の断続的な値上げ、賃金引上げに伴う人件費負担の増加など、昨年に引き続き売値の見直しをせざるを得ない環境である。また、引き続き「観光」、「10人以下の小宴会需要」が非常に多い一方で特に終電以降の時間帯の需要は未だ少ないなどコロナ禍前とは異なる傾向が続く。夏期を迎えるにあたり、その傾向が継続するのだろうか、または変化するのだろうか、注視が必要と感じる。

- ・上旬の連休中はインバウンドも含め毎日忙しい日が続いた。外国人客の現金支払いが多くなった。今まではカード決済が多かったが、円安の影響と考えられる。

- ・連休明けにパタリと来客が途絶えてしまい月末まで客足が悪い。お盆明けも同様だと予想され、色々対策を検討しなければいけない。物価高、賃金据え置き政府補助金の終了と、現状消費が伸びる要素がない。食のイベント等を企画し、飲食店に目と足を向けさせることも大事だと感じる。

郷土料理

- ・連休は前半後半に分かれて、中間の平日がなかだるみであった。月後半の平日は外国人客が以前より増えた。

食堂

- ・全国的に祭りやイベント等が復活し、ゴールデンウィークはスカイパークの利用者が増え、駐車場はどこも満車であった。松本山雅のホーム試合の日は周辺の道も混み、お店は静かだった。

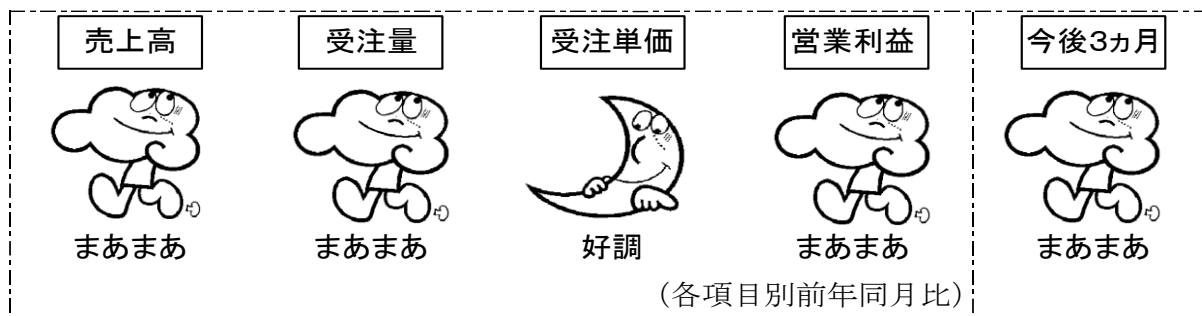
中華料理

- ・ゴールデンウィークは観光客の入りが多くコロナ禍前に戻った。総会が多く開催される時期になり当店にも多くの予約が入った。

ラーメン

- ・昨年10月に値上げをしたので売上はあまり変化はないが普通の日々の客数が減った。連休等は多少良かったものの、平均したらあまり良くないと思う。世間全体に物価高の影響もあり、節約傾向にあると感じる。駅前で行われる行事がある場合暇を感じる時があるため、駅前から外れている飲食店や場所によってはの情報も欲しい。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R6年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7	10.5
販売客数	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5	14.7	10.5
販売客単価	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6
営業利益	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9	5.3
見通し	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3	3.0	13.2

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|--------------------|--|
| 温泉旅館 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き人手不足で部屋数を制限して販売している。そろそろ人手を揃えて夏に向けて予約を取りたいが、こればかりは難しいので待つしかないと思う。 |
| 観光旅館 | <ul style="list-style-type: none"> 比較的天候に恵まれ、連日インバウンドの観光バスが押し寄せた。季節が10日程早く進み、花々も早く咲いてしまった。去年は人手が足りず日帰りのためのランチ営業ができなかったが、今年は連休過ぎから開始でき売上も上がった。6月に定額減税が行われるが、事務手続きが大変そうだ。 |
| 旅館 | <ul style="list-style-type: none"> 相変わらず人手不足でフル回転ができない。 |
| ホテル | <ul style="list-style-type: none"> 全体に宿泊、会議、宴会利用とも好調であった。7月支払い分の電気代等の値上がり心配である。 |
| ホームクリーニング・リネンサプライ業 | <ul style="list-style-type: none"> 安定した人材確保の難しさに直面し、省人化、省力化の重要性に改めて気づいた。短期的には業務の効率化、省力化に向けた取組みが重要となってきている。 |
| リラクゼーション | <ul style="list-style-type: none"> 高卒で入社した人の離職率が問題である。 |
| 機械設計 | <ul style="list-style-type: none"> 次のテーマまでの間が空いた。今まで忙しくてできなかった書類や図面を片付け始めた。 |
| 獣医 | <ul style="list-style-type: none"> 新年度から国家資格である愛玩動物看護師が新しく3名入社したことにより、労務関係でシフト制の出勤体制が良好になった。経営業績は全般にわたり好業況である。 |
| ペットサービス | <ul style="list-style-type: none"> ゴールデンウィーク期間中のホテルの利用がコロナ禍前と同等になった。今後は人件費などの高騰により価格改定が必要となる。 |
| デザイン業 | <ul style="list-style-type: none"> 長野県への観光客の動向が気になる。 |
| 保険業 | <ul style="list-style-type: none"> 代理店の集約化が進められている。人材確保状況、物価上昇対策が必要である。 |

